

事業名：SAGAデータ連携まちづくりプロジェクト

支出方法：委託

事業概要 (1/1) 【SAGAデータ連携まちづくりプロジェクト】

自治体名	佐賀県 (主:佐賀県、副:佐賀市、神崎市)	人口	787,076人	事業費	499,158千円
概要	県下で行政サービスのデジタル化は進んでいるが、データの活用は各市町の中で限定的で、市町間で連携が進んでいない現状がある。県市町が統一方針で設計したデータ連携基盤を導入することで、自治体間の垣根を越えデータ活用ができるようになり、災害対応の強化や観光振興が期待できる。本事業では、県内全体のデータの流通、連携を促進させるため、データ連携基盤を共同利用する仕組みを県が作り、基盤を活用したサービスを市町が実装することで、県民のWell-Being向上を推進する。				
申請タイプ	TYPEV				

共同利用の仕組み (モデル) をつくり 県全域に普及することで広域展開を実現 → 基盤活用した複数自治体でのサービス展開により… 『県民のWell-Being向上』

佐賀県
デジタル公共財 (データ連携基盤) の共同利用を促す役割

(1) データ連携基盤の共同利用の仕組みづくり
→ 市町単独では進めることが難しいため 基盤共同利用の仕組みは県別設計

(2) データセットの考え方を統一
→ データ流通を容易にできるように各市町の保有状況を調査し、データ形式の考え方を統一する

例) 避難所情報データ
自治体ごとにデータの持ち方が異なり 円滑な流通の妨げに…

- 【A市データセット】
 - 避難所名称
 - 住所 (例: A市〇〇町x番地)
 - 座標情報
 - 収容人数 …etc
- 【B市データセット】
 - 住所は市町名称+町名から (例: ●●町x番地)
 - 避難所名称の通し番号が#+1桁 (#1、B北地区公民館)

推進体制【県・プロジェクト全体】

■ 事業推進体制

名称	役割
佐賀県	<ul style="list-style-type: none"> 事業計画の立案、全体調整 報告書作成をはじめとする事業全般の管理 共同利用モデルの市町周知
佐賀市	<ul style="list-style-type: none"> 構築済み基盤に関する情報提供 庁内関係課との調整 基盤活用サービスの提供
神崎市	<ul style="list-style-type: none"> 構築済み基盤の共同利用 庁内関係課との調整 基盤活用サービスの提供
一般社団法人コードフォー・ジャパン	<ul style="list-style-type: none"> 基盤共同利用の仕組みづくり (設計～実装) データ保有ルールの統一化支援
佐賀市・神崎市	<ul style="list-style-type: none"> 事業に関する助言 地域団体との調整

交付金の具体的使途 (経費内訳)

該当サービス名	経費項目	数量	期間	金額(単位:千円)
データ連携基盤の構築・改修に要する経費	調査設計費	7,450千円×1式	R7年6月 ~ R8年3月	7,450
	実装運用設計費	6,000千円×1式	R7年6月 ~ R8年3月	6,000
	広報費	1,550千円×1式	R7年6月 ~ R8年3月	1,550
			~	
			~	